

内航船の廃食油回収・バイオ燃料活用に関する連絡協議会
2025 年度 事業計画書（案）

内航船の廃食油回収・バイオ燃料活用に関する連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）は、本年度については、次の事業に取り組む。

1. 内航海運分野における廃食油回収の事業者ガイドラインの検討

第 1 回の連絡協議会において、内航海運分野における廃食油回収の促進に資するため、海運事業者による船内における廃食油の管理方法、船舶代理店、施設管理者等の港湾の関係事業者による港湾における廃食油の一時保管の方法、廃食油回収事業者による廃食油の回収方法及びこれら廃食油回収事業者の連絡先について定める内航海運分野における廃食油回収の事業者ガイドライン（以下「廃食油回収ガイドライン」という。）の策定を 2023 年度からの 3 か年で検討することとされたところである。

2023 年度は、内航船及び回収場所・一時保管場所となる港湾における廃食油の取扱い等の実態を調査した。

2024 年度については、内航船及び回収場所・一時保管場所となる港湾における廃食油の取扱い等の実態調査を深掘し、検討すべき課題を抽出したうえで、船上実証試験において、廃食油の船側からの受け渡し及び廃食油由来バイオ燃料の船側への提供を実施し、課題を抽出した。

本年度は、2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、内航海運においても、ますます廃食油由来のバイオ燃料の活用が必要となってくる中、これまでの知見を踏まえた情報発信を中心に、海事局での取組みとの連携、これまでに明らかになった課題への対応を実施する。

1. 情報発信（継続）

他業界に比べ情報発信が遅れていることを踏まえ、内航分野における廃食油由来バイオ燃料の必要性や課題を共有すべく、連絡協議会事業の成果発表セミナー等のイベントを開催する。

2. 情報共有（継続）

連絡協議会に参加者それぞれにおける事業、取組みを共有する。

3. 船用利用促進に向けた仕組みの検討

内航分野における廃食油由来バイオ燃料の船用へ利用促進に向けた仕組みを検討する。

4. 技術的課題への対応とその情報共有

技術的課題として考えられるものに対し、各者で対応のうえ、情報を共有する。

技術的課題のテーマ

- ・バイオ燃料の摺動部等への摩擦・摩耗影響及び劣化に関する調査

バイオ燃料の使用において、高圧部や摺動部（燃料噴射ポンプや燃料噴射弁など）における摩擦、摩耗やバイオ燃料の劣化などへの不安の声を受け、数種類のバイオ燃料による摩擦、摩耗やバイオ燃料自体の劣化の影響を調査

- ・B30、B100 といった高濃度バイオ燃料に対する船上実証
- ・グリーストラップ浮上油からの燃料利用促進

以上